

地方創生の目指す姿

地方創生の三大要素である「しごと・ひと・まち」が循環し、人々が希望を持って住み続けることができる持続可能な社会の実現を目指します。



地域に強い絆が生まれている

- ・産・学・官・金の強いネットワークが構築されている
- ・地域の課題をそのネットワークのみんなで知恵を出し合い、解決に向けた行動を起こすことができる



最先端の技術・研究所がある

- ・日本中/世界中の研究者が集まる
- ・地元企業の技術力が高まり、事業の幅が拡大する



魅力的な企業が多い

- ・地域に上場企業がある
- ・大手企業が多く進出している
- ・夢や希望が叶えられる

「強い」地方経済

自律的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出

魅力的な街が増える

- ・市街地の大規模開発が行われる
- ・魅力的な公共施設が充実する
- ・豊かな行政サービスが提供される

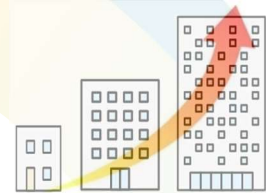


「豊かな」生活環境

生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出

新たな雇用が創出される

- ・新しい産業が生まれる
- ・ベンチャー企業が集まる



みんなが住みやすい

- ・出会いの機会がある
- ・仕事があり将来の不安が少ない
- ・企業の育児支援制度等が充実している

「新しい東北・楽しい東北」

若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人ひとりが幸せを実感できる地方を創出

若者が多い

- ・他地域へ転出しない
- ・転出しても戻ってくる (Uターン)
- ・転入が多い (I・Jターン)



地域に多くの人を訪れる

- ・観光施策が充実している
- ・インバウンド体制が充実している



地方創生の三大要素

しごと

を創る

ひと

が住む

まち

が整備される

当行の推進体制

4つの重点推進項目の更なる取組強化と、
産学官金連携のプラットフォームの活用等により地方創生を実現します。

4つの重点推進項目

P7-8 創業・新規事業支援

- ▶ 当行の支援メニュー
- ▶ 外部機関との連携事例
- ▶ スタートアップ企業のグローバル展開支援
- ▶ 宮城県内における起業等の特徴



▲ 創業応援パッケージ

P9-10 地域中核企業支援・育成

- ▶ ビジネスマッチング・企業版ふるさと納税・
販路開拓支援等
- ▶ 産学・外部機関連携支援
- ▶ 企業誘致
- ▶ 事業承継・M&A・IPO支援



▲ 商談会の様子

P11-12 まちづくり事業の促進

- ▶ せんだい都心再構築プロジェクト
- ▶ 次世代放射光施設「ナノテラス」
- ▶ 仙台市「脱炭素先行地域」
- ▶ 官民連携事業（PPP/PFI）の促進



▲ ナノテラス（上空写真）



▲ せんだい都心再構築プロジェクト

P13 観光振興支援等

- ▶ 東北観光金融ネットワーク（FINE+東北）
- ▶ 二次交通へのアプローチ

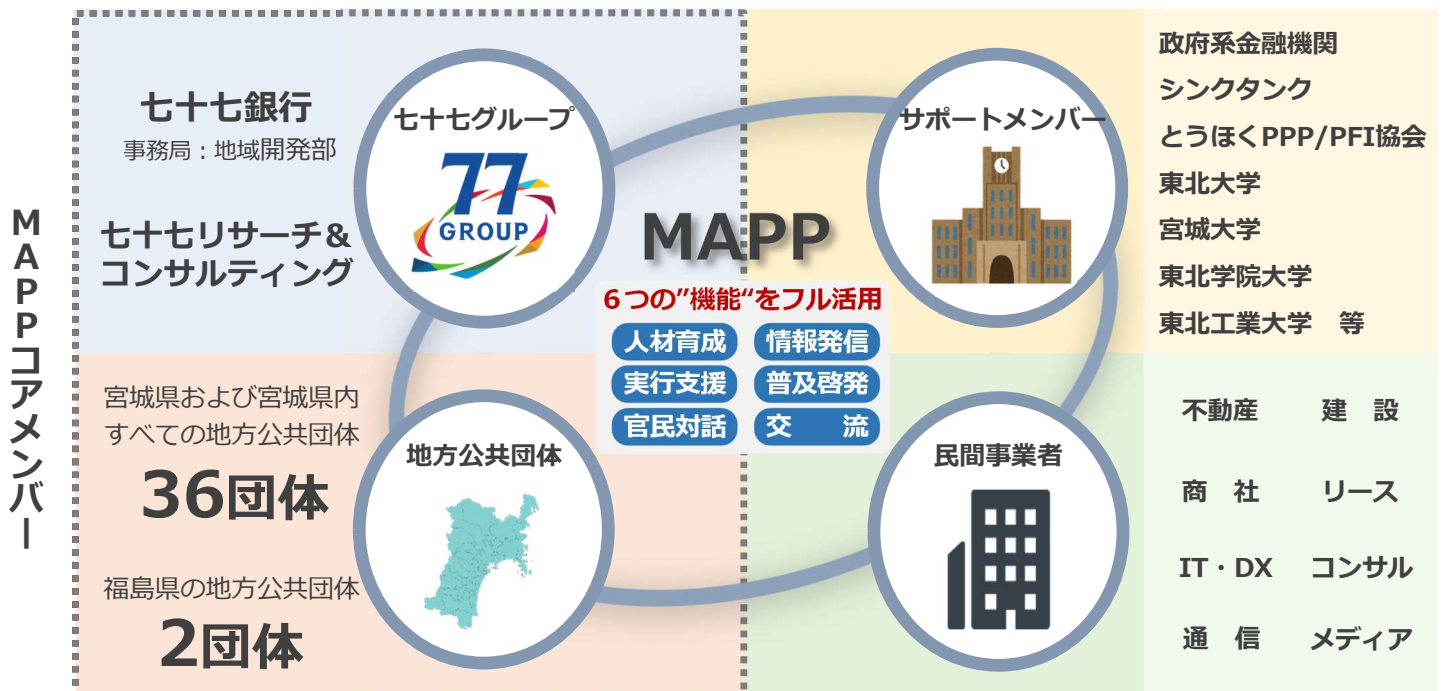


▲ フォトコンテスト

【出典】光科学イノベーションセンター、仙台市、東北観光金融ネットワーク

みやぎ広域PPPプラットフォーム（通称：MAPP）の取組み

地方公共団体と締結している「地方創生に向けた包括連携に関する協定」等に基づく取組みの一環として、民間資金や民間ノウハウの活用に向けた官民の情報共有および対話促進を継続的に展開する場である「みやぎ広域PPPプラットフォーム（通称：MAPP）」（2020年1月設立）を形成しています。



01 機運高まるスタートアップ企業支援 ～Part1～

NEW

「スタートアップワールドカップ2025東北予選」に協賛！東北地方で初めて開催！

- ・スタートアップワールドカップは、革新的なスタートアップ企業を対象として世界100以上の国と地域で予選が実施される世界最大級のピッチコンテストです。毎年3万社以上のスタートアップ企業が参加し、米国で開催される本選での優勝企業には賞金100万米ドルが贈呈されます。
- ・2025年8月、初めて仙台市にて予選が開催され、リアル＆オンライン合わせ、約2,000名の観客が視聴しました。当行は「特別プラチナスポンサー」として参画し、本イベントを通じてスタートアップ企業の支援を実施しました。



＜東北予選優勝企業 AZUL Energy株式会社＞



＜当行頭取挨拶＞

- ◇ **AZUL Energy株式会社**は、2022年に当行「七十七ニュービジネス助成金」（☞7ページ参照）を受賞した東北大学発スタートアップ企業です。本イベントで優勝し、2025年10月に米国で開催された本選に出場しました。

02 機運高まるスタートアップ企業支援 ～Part2～

NEW

「DATERISE ! 2025」を共催！「七十七銀行賞」でスタートアップ企業成長支援！



＜「七十七銀行賞」受賞式の様子＞
（右：ファイトケミカルプロダクツ株式会社 加藤社長）

ピッチコンテストでは、**アイラト株式会社**が優勝し、**ファイトケミカルプロダクツ株式会社**が「七十七銀行賞」を受賞しました。両社ともに仙台市に本社を置く東北大学発スタートアップ企業であり、当行グループは多様な方法で支援を実施しています。

東北から海外で活躍するスタートアップ企業の創出を目的に、仙台市として初となるグローバルスタートアップイベントが2025年8月に開催されました。当行は「七十七銀行賞」を提供し、本イベントを通じてスタートアップ企業の支援を実施しました。



＜集合写真＞

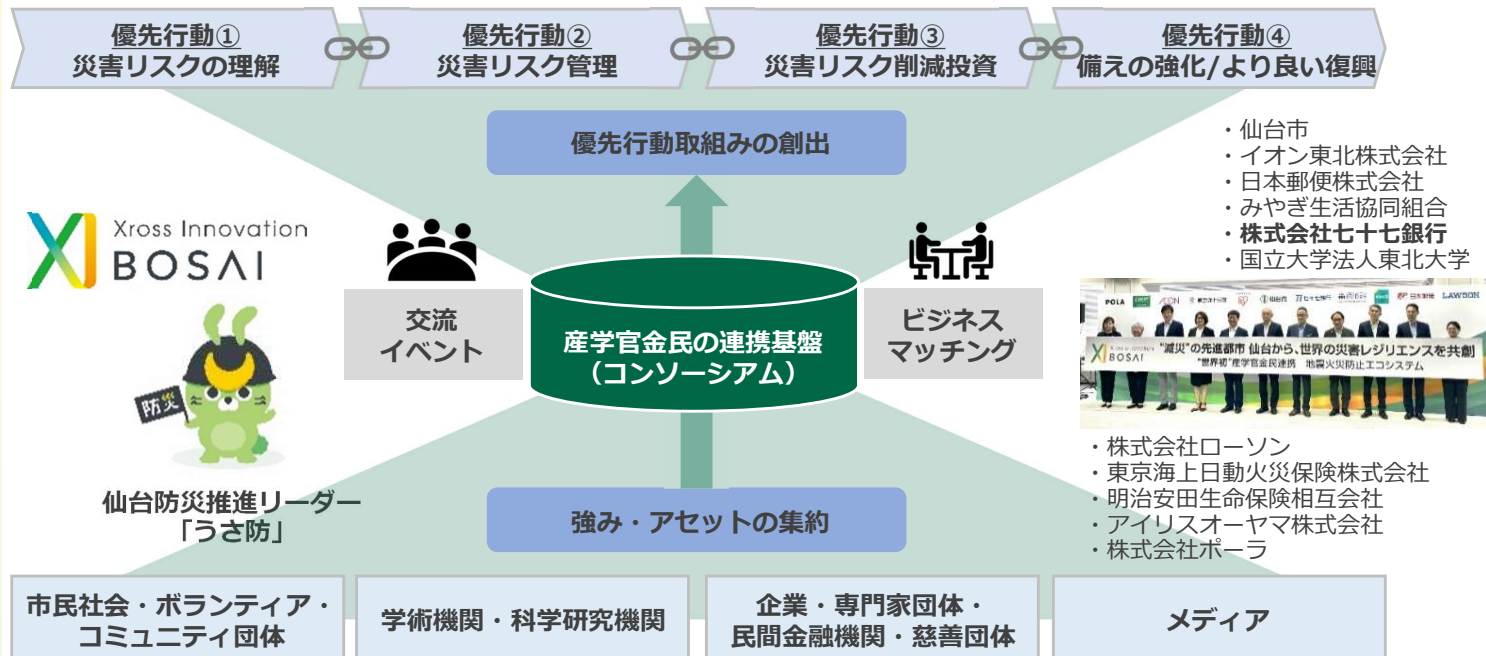
03 官民連携による“まちづくり”事業の促進

NEW

仙台防災枠組の社会実装を目指す共創プラットフォーム「Xross Innovation BOSAI」へ参画！

2025年8月、仙台市と10の事業者で設立した産学官金民連携による防災共創コンソーシアムに参画しました。感震ブレイカー等の実装や参画事業者間の連携による新技術・新サービスの共創を通じて、長町－利府線断層帯地震等により想定される被害を今後10年以内に削減することを目指します。

連携基盤コンソーシアムが産学官金民の強み・アセットを掛け合わせ。
交流イベント・ビジネスマッチング等を通じ、優先行動に資する取組みを創出していく。



【出典】仙台市

04 若年層の地元定着に向けた取組み

EMPOWER MIYAGI 2024 powered by TGC を実施！

東京ガールズコレクションを企画・制作する株式会社W TOKYOと当行が事務局を務める「MAPP」が協働し、「若年層の人口流出」へのアプローチを目的としたプロジェクトを実施しました。「人材育成」とZ世代を中心とした幅広い世代に対する「シティプロモーション」を中核として、「若者が自ら発信し、若者を呼び込む地域定着の好循環の創出」に取り組みました。

人材育成プログラム「EMPOWER MIYAGI SNS プログラム」



プログラムで制作したPR動画で
#EMPOWER MIYAGI MOVIE AWARDSに挑戦！

魅力発信イベント「EMPOWER MIYAGI FES. produced by TGC」



©EMPOWER MIYAGI FES. Produced by TGC

TOPIC

NEW

2025年3月、当行と株式会社W TOKYOとの連携による地方創生プロジェクト「EMPOWER MIYAGI 2024 powered by TGC」が、地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例として、全国約860件の取組事例から選出され、**内閣府特命担当大臣（地方創生等担当）より表彰を受けました。**

▼ 表彰式の様子



中央合同庁舎講堂（東京都千代田区永田町）にて伊東良孝内閣府特命担当大臣（地方創生等担当）から表彰状を受け取る小林頭取。